

第7回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会

2016年6月11日(土)～12日(日)

@浅草ビューホテル、台東区立浅草公会堂、台東区民会館、東京都立産業貿易センター台東館

| ワークショップ 14   |  |
|--|--|
| 企画名  | 高齢者の転ばぬ先の、転んだ後の EBM♪ ～転んでも、ただでは起きぬバリバリ医療者に変身!～ |
| 日時   | 2016年6月11日(土) 17:00～18:30                      |
| 会場   | 第10会場 (台東区民会館 8階 第3会議室)                        |
| 企画責任者  | 林寛之 (福井大学医学部附属病院)                              |
| 定員   | 24名  |
| 開催の目的・概要   |  |
| <p><b>【開催の目的】</b></p> <p>高齢者にとって転倒は人生の最大の転機となりうる。そのまま転げ落ちていくことも・・・(～_～;)。転倒・骨折を契機に寝たきりになってしまう高齢者は多く、病院内での転倒は医療安全にも関わる。外来や入院で患者の転倒リスクを正しく評価し、その予防対策をきちんと指導できるようになりたい。また転倒してしまった場合、臨床家はきちんと臨床評価で骨折の有無を疑える目を養っておきたい。X線なんて・・・(´Д｀)。高齢者がより良い健康寿命を延ばすためにはどのような予防対策があるか EBM を紐解いて知っておくと、外来で患者さんとの話に花が咲くこと間違いなし。</p>   |  |
| <p><b>【概要】</b></p> <p>転倒に関連する EBM を提示し、転倒リスク評価、骨折評価、転倒予防の3つの WS で学習し、意見交換を行う。</p> <p>(1) リスク評価の EBM</p> <p>年齢や薬剤はもちろん、環境などさまざまな要因が関与しているため、評価が曖昧になりがち。したがって、予防につながらないなんてことから卒業しよう。TUG など日常診療で“気軽にできる”、“予防につなげる”をキーワードに転倒リスク評価を紹介します。</p> <p>(2) 骨折評価 (大腿骨頸部骨折、脊椎圧迫骨折)</p> <p>身体所見で臨床診断できるようになろう。X線って結構あてにならないから、マイケルジャクソンサインなんて知っているとお得! 大腿骨頸部骨折はポケットエコーが大活躍、きちんと痛み止めをして転院搬送を。</p> <p>(3) 予防</p> <p>こけることだけでなく、こけるのが怖くて引きこもりになることもあるんです。そんな高齢者に予防は大切、でもきちんと指導できてますか? 何を指導したら? というあなたに、エビデンスに基づいて、運動や食事、サプリメントについてお教えします。一緒に Tai-Chi しませんか?</p> |  |